

2022年7月12日

関係者各位

日本学生トライアスロン連合  
2022年度審判委員長 渡邊純一郎  
2022年度大会運営委員長 沢部領花  
2022年度学生委員長 栗原豊季

### 西日本学生トライアスロン選手権長良川大会 レース形式変更に関して

去る7月10日、西日本学生トライアスロン選手権長良川大会 兼 東海北陸・近畿・中国四国・九州沖縄学生トライアスロン選手権長良川大会が開催されました。大会を開催するにあたりご尽力頂きました関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

出場選手、チーム関係者の皆様もお疲れ様でございました。

当日のレース形式変更の経緯についてお知らせいたします。

前日(7/9)から続いた降雨により、長良川下流部の堰が開きました。これにより川の流量が増え、スイムコースの安全が確保できないため、デュアスロンへの変更を決定致しました。この時点では、JTU 競技規則に準じる形(5km-20km-2.5km)で実施することと致しました。

想定をはるかに上回る降雨により、改めてコースチェックを行ったところ、バイクコース上に水たまりが多数発生する等、路面状況が危険な箇所があることが確認されました。よって安全確保の観点から、折り返し地点を手前に変更することと致しました。

これにより1周回の距離が短くなるため、周回数を増やすことを検討致しました。しかし、変更に伴う変更で混乱をきたすこと、コーナーの回数が増え落車の危険が増えること、低体温症のリスクが高まること、といった理由から、4周回のまま実施することと致しました。

一連の変更に関しましては、可能な限りトライアスロン形式で実施すること・JTU 規則に準じることを前提とし、自然災害によって安全面が大きく損なわれることに対応して、やむを得ずローカルな決定が行われました。トライアスロン本来のレース形式から離れてしまうことは、大会運営本部としても苦渋の決断であり、皆様の心中お察しします。

本大会で日本学生トライアスロン選手権大会の出場権が発生することに変更はございませんので、その点は何卒ご了承ください。

以上